

校長室だより

10月号

杉並区立向陽中学校
令和元年10月31日発行
校長 菅野武彦

「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して

【今年度のキーワード】

「チーム向陽 ～組織対応・説明責任～」

◇ 『東京都 生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査』の結果のお知らせ

今年度実施した『東京都 生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査』の集計結果が出ましたので、一部抜粋版をお知らせします。各学年生徒の体力・運動能力の概要が把握できます。

【男子】（1年：青・2年：黄・3年：赤）※赤数字は東京・全国よりともに低い

	身長	体重	握力	反復横とび	持久力	50M走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
本校	152.7	42.5	22.9	46.5	408.1	8.4	166.3	18.1	31.7
東京	153.3	43.3	23.3	49.2	433.5	8.6	178.6	17.4	32.7
全国	153.4	43.9	24.6	49.5	416.1	8.4	181.0	18.7	35.5
本校	159.1	47.6	25.9	50.8	386.9	7.6	191.6	21.4	39.6
東京	160.6	48.3	28.5	52.4	390.1	8.0	194.8	20.4	40.9
全国	160.2	48.4	30.1	53.1	370.8	7.8	197.7	21.5	44.7
本校	167.4	53.0	33.1	55.8	367.6	7.2	215.3	25.1	50.5
東京	166.1	53.3	33.4	55.1	377.6	7.6	209.5	22.9	47.8
全国	165.0	53.2	35.4	56.1	365.1	7.4	212.4	24.1	51.6

【女子】（1年：青・2年：黄・3年：赤）※青数字は東京・全国よりともに高い

	身長	体重	握力	反復横とび	持久力	50M走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
本校	151.9	41.1	19.9	45.3	283.8	9.5	165.3	10.5	43.0
東京	152.4	43.1	21.6	46.2	306.8	9.1	165.2	11.1	44.2
全国	152.0	43.4	21.9	45.5	298.6	9.0	165.0	11.9	45.4
本校	156.8	48.3	23.6	48.6	261.4	8.4	175.7	14.1	54.7
東京	155.4	46.6	23.6	47.5	288.9	8.8	169.8	12.6	49.6
全国	155.0	46.6	24.4	47.0	278.4	8.7	170.7	13.5	51.4
本校	158.0	49.1	25.8	50.4	256.0	8.5	189.2	14.5	58.0
東京	157.0	49.2	24.8	48.1	289.9	8.7	171.4	13.5	51.7
全国	156.3	49.1	25.5	48.0	284.0	8.6	174.8	14.4	54.0

※ 男女とも学年が上がるにつれて、体力・運動能力の向上が見られます。特に「持久力」が際立っています。また、「50M走」・「ハンドボール投げ」も高い力を発揮しています。保健体育の授業で継続的に取り組んでいる成果と考えられます。

※ 課題は男子が「握力」・「反復横とび」、女子の第1学年が「握力」・「50M走」等です。体力も運動能力も生きる上で必要不可欠な力と捉え、向上を図ってまいります。

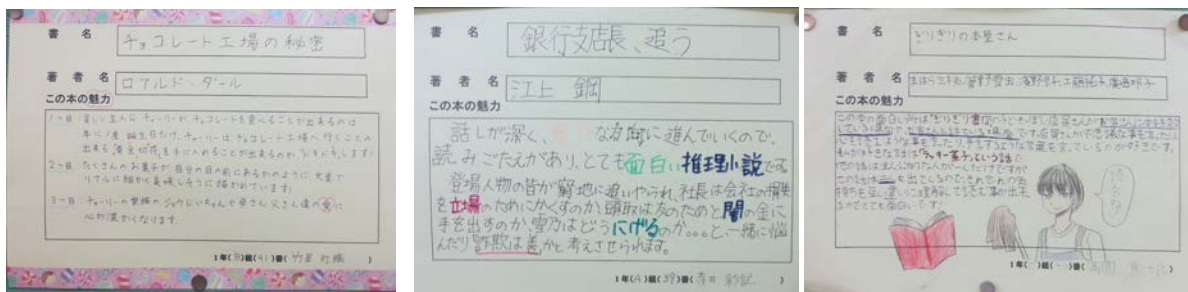
◇ この2学期、生徒に“たくましさ”を意識させて... ～必ずや生きる力に～

私は向陽中生にこの2学期は「たくましい向陽を創ろう！」と呼びかけています。この意図は全校生徒に“たくましさ”を意識させることで、学級や学年が雰囲気よく行事に前向きに取り組み、より成長した姿を見せてほしい、また、生徒個人にも“たくましさ”を意識させることで、今の自分に向き合わせ少しでも“たくましさ”を身に付けてほしいからです。向陽中学校全体が一段とたくましい雰囲気に包まれ、生徒の成長が実感できるなんて、こんなうれしいことはありません。これが学校全体の“一体感”です。

生徒に“たくましさ”を求めるその先には、生徒一人一人の「自立」があります。そこで大切なことは、生徒自身の課題に向き合わせ、自力で解決しようとする過程です。1・2年生は毎日の授業や委員会・係活動、部活動等を通して、3年生は“受験勉強”を通して「たくましさ」に向き合わせ、自力で解決するよう呼びかけています。必ずや一人一人の生きる力になると信じて。

自分はどうなりたいのか？ ～自分の課題に向き合ってこそ～ 1・2年生に期待

例えば、毎日の「授業」。向陽中学校は向陽中生を『自立した学習者』に育てることを目標にしています。『自立した学習者』の具体像は“能動的に学ぶ・対話的に学び考えを深める・よりよい人間関係をつくる”です。言い換えれば、これまでの“依存”や“待つ”姿勢を変えることです。先生方も生徒が“能動的かつ対話的に学ぶことができる”ような授業づくりを行っています。では、1・2年生は毎日の「授業」にしっかりと向き合っているでしょうか。逃げていない人はいませんか。誰にでも得手不得手、好き嫌いはあります。でも、それに向き合わなければ何も変わりませんね。まずは「自分はどうなりたいのか」を展望してみよう。そして、その展望が開けるようにするため、具体的に何をどうするのかを洗い出し、それに向き合うのです。



第1学年 「読書紹介」～私が選んだこの1冊～ 学校図書館前に掲示中

また、委員会や係活動、部活動も自分に向き合い、「たくましさ」を身に付ける有効な活動です。向陽中の先輩方が頑張り、生徒会活動と委員会活動を充実させてきました。これを受け継ぐ1・2年生がどう頑張るかにかかっています。これに関してはきっと大丈夫だと思います。やる気に満ちているからです。また、秋の新人大会をほぼ終えた部活動。1・2年生の真剣な表情と頑張りを見させてもらいました。向陽中生の一生懸命な姿を見るっていいですね。これからも部活動にしっかりと向き合って「たくましさ」を身に付けてほしいです。



第2学年 「職場体験」新聞 各学級前廊下に掲示中

さあ！ 3学期を乗り切る“たくましさ”を！ 3年生94名と面談

9月下旬から先週までの約1か月間、昼休みと放課後を使い、3年生と4人一組の面談を行いました。この2学期に3年生と面談を行うのは、“受験勉強”を通してたくましくなってほしい、3学期を乗り切る力を身に付けてほしいという理由からです。まず、一人一人に今頑張っていることを話してもらい、併せてこの2学期には向陽中生に“たくましさ”を求めているが、「どうやって身に付けるか」を話してもらいました。ほとんどの3年生は「受験勉強！」とか「苦手克服！」など学習面での頑張りを挙げ、また「ねばり強く取り組む」・「自分で決めたことを実行する」ことなどを通して、“たくましさ”を身に付けたいと、力強い言葉が3年生の口から聞かれました。

つぎに、3学期の大変さを説明しました。「2学期はほぼ全員が同じ方向を向いて勉強に励むから、クラスの雰囲気も乱れることはない。ところが3学期はそうはいかない。一人一人の受験が始まるからだ。早い人は1月中旬に始まり、合格する人も出てくる。一方、都立高校の一次入試を受ける人は2月21日が入試で、合格発表は3月2日だ。この間1か月半近く差が出る。しかもその間に、出願だ、入試だ、発表だ、手続きだと生徒の教室への出入りが頻繁になる。自ずとクラスの雰囲気は落ち着かなくなる。しかも3年生一人一人にプレッシャーもかかり、ストレスとなる。次第に、自分のことしか見えなくなり、追い詰められた気持ちになったりする」と。

みんな真剣にうなずきながら話を聞いてくれました。3年生にはこの3学期を乗り切る“たくましさ”を身に付けてほしいのです。「受験は個人戦でもあり、団体戦でもある」ことを肝に銘じ、3年生が“共に3年間歩んできた仲間”として乗り切ることを願っています。保護者も先生方も大人はみな、君たち3年生を支え、応援しているよと伝えました。がんばれ！3年生！

第3学年「修学旅行」新聞
各学級廊下前に掲示 →

向陽中生が示した向陽祭の真骨頂『一体感』が素晴らしい！

保護者の皆様より「向陽祭」のご感想をたくさんいただきました。一部をご紹介します。

「音楽って素晴らしい！向陽中生のパワーって素晴らしい！初めての向陽祭、全プログラムを鑑賞し、一日大いに楽しませていただきました。大ホール会場を包み込んだ一体感を子どもたちと共に全身で味わわせてもらい、大変幸せな時間となりました。このような機会をつくってくださり、ご指導くださいました先生方と地域の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました！！一つ一つの向陽中の行事を経験し、一步步階段を昇っていく子どもたちを家庭でしっかりとサポートしていけたらと思います。「朝から一日、子どもたちの精一杯頑張る姿を見せてもらい、良い一日を過ごさせていただきました。各クラス、ステージへの入退場の様子も、またホワイエで練習している姿も立派でした。吹奏楽部とダンス部のエネルギー溢る発表も素晴らしかったです。一体感を味わう良い時間だったと思います。…」。(1年保護者)



◇ 「保護者による部活動見守り制度」の一部見直しのお知らせ

平成31年4月20日(土)発行の「保護者による部活動見守り制度」について、対応の一部を見直しさせていただきますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。見直しの主な理由は、見守りの保護者が部活動中の生徒の怪我や身体の変調等への対応において、救急車を要請するか否かの判断に困ることがないようにするためです。

◇ 《見直しを行う箇所》 「2 実施上のきまり(4)②」(下記)

【現行】救急車の要請が必要と判断した場合は、見守りの保護者が生徒の保護者と連絡を取り保険証持参で病院に向うよう依頼するとともに、救急車に同乗して病院に行く。病院で見守りの保護者は生徒の保護者と引き継ぎを行う。(校長に報告 携帯番号へ) 後日、生徒の保護者は養護教諭と連絡を取り、日本スポーツ振興センターの対応等について確認する。

【見直し】救急車の要請が必要と判断した場合は、**まず、校長(携帯番号)に連絡を入れ、生徒の様子を報告し、救急車要請の判断を依頼する。校長が救急車要請の判断をした場合は、見守りの保護者が救急車を要請する。つぎに、**生徒の保護者と連絡を取り、保険証持参で病院に向うよう依頼するとともに、救急車に同乗して病院に行く。病院で見守りの保護者は生徒の保護者と引き継ぎを行う**(生徒の保護者は救急対応終了後、校長の携帯番号に報告)**。後日、生徒の保護者は養護教諭と連絡を取り、日本スポーツ振興センターの対応等について確認する。

なお、この制度の活用は「顧問教諭から保護者への依頼」により実施される制度です。生徒が怪我をしたり、体調を崩したりした場合の対応等について、顧問教諭と保護者との意思疎通及び連携をよろしくお願いいたします。

◇ 保護者の皆様へ「棚卸し」に対するご意見をありがとうございました

10月30日現在、46名の保護者の皆様よりご意見をいただきました。ありがとうございました。保護者のご意向を集計したところ、①「定期考査を年4回にする」(賛成80%・反対20%)、②「定期考査中の給食をなくし、教員の採点時間を確保する」(賛成80%・反対12%・その他8%)、③「修学旅行での学びを考える。それに伴う校外学習も考える」(賛成46%・反対3%・その他51%)という結果になりました。

①では、単元テストの実施、第1回定期考査が1年生にとって9教科になることへの指導、部活動の配慮等についてご意見がありました。②では、定期考査後の給食の提供や授業時数の確保、部活動での教員負担軽減等のご意見がありました。③では、「どう答えていいのかわかりにくい」とのご意見が半数を超えました。修学旅行・校外学習については、学校として検討する際、保護者の皆様にも情報を提供したいと思います。今後、保護者が不安に思うことや課題になることへの対応をしっかりと行い、実施できるよう準備してまいります。

保護者の皆様へのお知らせ 「11/16 震災救援所訓練における生徒の関わりについて」
“これまでの1年生全員参加を取り止め、ボランティアとしての参加に変更します。”
→理由：震災救援所運営委員会において、「救援所の立上げ訓練を運営委員会主導でしっかりと行いたい」との意向が出されたため、中学生は以前のようにボランティア活動として参加することにしました。生徒には10/21(月)にその旨を伝えました。